| 授業科目名・形態 | 介護総合演習Ⅱ　　演習 | 必修・選択の別 | 選択 | 単位数 | 1 |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目担当者氏名 | 石岡和志　柴田博　今野修 | 実務経験の有無 | 有 | 開講期 | ２年前期 |
| 科目ナンバリング | W6-2002c | | | | |

**【授業の主題】**

介護実践に必要な知識と技術の統合を行なうとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする。介護実習Ⅰの後に行われる演習であり、介護実習Ⅰの振り返りを行う。また、訪問介護や小規模多機能型居宅介護等サービスなど、居宅型サービスや介護の専門性の考察、介護支援技術の確認なども行う。また、次の介護実習Ⅱの実習計画についての事前指導も行う。

**【到達目標】**

1．介護実習Ⅰを振り返り、介護の知識や技術を実践と結び付けて統合、深化させるとともに、自己の課題を明確にし、専門職としての態度を養う。
2．利用者によくみられる疾患を理解する。
3．実習にICFをどのように導入するか考察できるようにする。

**【授業計画・内容】**

第 1 回　介護実習Ⅰの振り返り①
第 2 回　介護実習Ⅰの振り返り②
第 3 回　介護実習Ⅰの報告①
第 4 回　介護実習Ⅰの報告①
第 5 回　介護実習Ⅰの報告①
第 6 回　実習施設の理解①（特別養護老人ホーム）
第 7 回　実習施設の理解②（老人保健施設）
第 8 回　実習施設の理解③（障害児施設・障害者支援施設）
第 9 回　介護実習Ⅱに向けた演習（利用者に多い疾患）
第10回　介護実習Ⅱに向けた演習（コミュニケーション）
第11回　介護実習Ⅱに向けた演習（ケアカンファレンス）
第12回　介護実習Ⅱに向けた演習（認知症対応）
第13回　各実習施設担当教員による事前指導①（実習計画等）
第14回　各実習施設担当教員による事前指導②（実習計画等）
第15回　介護実習Ⅱに関する諸注意事項の確認と実習最終準備作業

**【授業実施方法】**

基本的に演習形式で行う。

**【事前・事後学習】**

毎回、テキストを中心に30分の予習及び演習内容を踏まえた30分の復習を行うこと。また、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者支援施設等については事前学習しておくこと。

**【主な関連する科目】**介護過程、介護の基本、高齢者福祉論、障害者福祉論、認知症ケア論

**【教科書等】**

最新・介護福祉士養成講座10　介護総合演習・介護実習　第2版　中央法規出版

**【参考文献】**

必要時に資料を配付する。

**【成績評価方法】**

授業態度等10%、授業内での発表30%、レポート及び実習計画書、実習報告書等の提出物60%で総合的に評価する。60%以上の得点で合格とする。

**【実務経験及び実務を活かした授業内容】**

福祉施設で介護職員として介護業務を経験してきた。介護現場での経験を活かし、利用者主体の個別的な介護が提供できるように指導していきたい。

**【学生へのメッセージ】**

利用者のアセスメントにおいて重要となるICFの考え方を復習してほしい。